



ネットヨタ三重&つうぴー編集室 presents

学校応援隊が行く!!

セントヨゼフ
女子学園高等学校
贈る言葉
編

セントヨゼフ 女子学園高等学校

春は別れと出会いの季節。
生徒たちは通いなれた学校を巣立ち、
新たな世界へ踏み出します。
これまでの成長を
見守ってきた先生たちに、
卒業生へ贈る言葉を聞きました。



Q1 卒業式の感想を教えてください。

A1 (B組小木曾先生) 例年通り、井関校長から、卒業証書を全員に手渡していただき安心してました。アットホームで温かい式になったと思います。

〈右〉Aクラス担任 高橋一真先生
〈中央〉Bクラス担任 小木曾まき先生 (学年主任)
〈左〉Sクラス担任 加藤流美子先生

Q2 卒業生はどんな学年でしたか?

A2 (滝沢教頭) 素直で、純粹で、元氣。ちょっとしたことで盛り上がり、授業が楽しかったです。

(A組高橋先生) 独立心が強く、指示をなくとも自分たちでしっかり動けます。行事でもリーダーが主体になって生徒たちで準備を進めてくれました。



Q3 思い出に残っているエピソードは?

A3 (S組加藤先生) みんな歌が好きで、合唱コンクールに力を入れました。昨年は、試行錯誤しながら難しい曲にチャレンジして優勝を勝ち取りました。みんなでやりきった充実感を得られたと思います。

Q4 心に留めておいてほしいことはありますか?

A4 (滝沢教頭) 建学の精神である、「愛と奉仕の精神」に基づき、他者を気遣う心を大切にしてください。

先生 智子 先生 昌彦
校長 井関 滝沢
教頭

Q5 どんな風に成長してほしいですか?

A5 (井関校長) 良い縁は、さらに良い縁を呼び込みます。良い人、良い書物と出会ってほしい。今年の卒業生は朗らかで明るい学年でした。一緒にすばらしいハーモニーを奏でられる仲間をつくり、みなさんそれぞれ縁を広げてもらいたいです。



(B組小木曾先生) A1など、さまざまな機械があふれる世になっていますが、心遣いができるのは人だけです。自分も、相手も幸せにできる女性になってほしいですね。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!